

③光の帯をバックにポーズ。④ほくは航海上。「おもかじいっばい」⑤若国、広島、廿日市から参じた皆さん。海からの景色を楽しんでいました。

工場は星散りばめたよう

大竹港沖合

商工会議所主催で昨年に行われたクルーズ船「銀河」での「おたけコンビナート夕暮れ&夜景クルーズ」。今回は夕景と夜景の2つのコースで出航します。

乗船後は市内の料理店の仕出し弁当を味わったり、特産品の物販コーナーで買い物をしたり、船内放送の大竹港やコンビナートの説明に耳を傾けたりするなど、思い思いの時間を過ごしていました。

デッキでは、日頃とは違ったところから眺める工場の景色をスマートフォンで動画撮影。望遠レンズを構える本格派のカメラマンたちの姿も見られました。夜のとばりが下りると、景色は一変。きらめく無数の光が、銀河のようでもありました。

9/21 SAT

①スマートフォンに工場夜景を収めます。②職場の仲間間でクルーズ参加。

⑥地元から参加の吉田千里さん(左)と望戸美希さん(右)は、「海からコンビナートを見るのは初めて」と言いながら、お弁当を味わっていました。⑦風にあたってデッキで談笑。



10月6日 晴天に恵まれ黒川祭りが催され、青と黒の法被姿に豆絞りのはちまきをきりりと締められた子どもたち30数人が、黒川の大歳神社に集まりました。にぎやかな祭りばやしとともに子どもみこしが神社を出発。黒川地区をぐるりと周回します。笛や太鼓の音に誘われ沿道に出た観客が、声援を送る姿がありました。

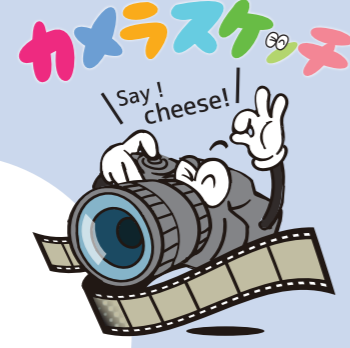


f 10月16日 初夏に親子で植えた稲が実りの季節を迎え、松ヶ原こども館の子どもたち11人が刈り入れを体験しました。東田自治会長に稲刈りのコツを教わり、早速取り掛かります。慣れない手つきながらも親子で力を合わせ、10㎡の稲を収穫しました。鎌を持つ手つきもしっかりした山根聖奈ちゃん(4歳)は、「やりたかった。楽しかった」とうれしそうでした。



10/5 SAT

①ホールインワンを出して思わずOKのポーズをする河内英治さん(南栄)②豪快なショットで気分爽快。③ホールインワンを決めた川本義雄さん。周囲からは「この人は今日4つ出すよ」との声。



球の行方に一喜一憂
晴海臨海公園
交通安全協会創立70周年を記念して、高齢者交通安全グラウンドゴルフ大会が開催され、各地区の老人クラブ22チームがスコアを競いました。2つ目のホールインワンを決めた七福会の川本義雄さん(西栄)は、「2年になってから始め、週2回くらい栄公園でやっています」と笑顔。日頃プレイをするコースとの違いに若干とまどいながらも、球の行方を一喜一憂しながら追う姿がありました。



10/13 SUN

今日は一日祭り三昧

玖波地区

f 爽やかな秋の日が降り注ぐ中、恒例の玖波祭りが挙行されました。正午に打ち上げられた花火を合図に、祭りの行列が大歳神社を出発します。「いんようひー、いんようこまーじ、いんようがへーのへー」という独特の掛け声で先陣を切るのは、市の指定重要文化財の「玖波宿本陣入やっこ」です。江戸時代の宿場町として栄えた玖波の町を行く、参勤交代の大名行列の様子を今に伝えます。

①前夜祭では合和神楽団による「八岐大蛇」などが上演されました。②毛やりを受け渡す前の、派手な所作が特徴的。③白壁の家並みが残る西国街道。やっこだこのように両手を広げます。④やっこ行列を引き連れる幸領の風格。⑤心強い若い後継者。



⑥おれたち赤獅子、青獅子コンビ。子どもたちをガブリ!

⑦交差点などの要所で右に左に、あわや家に飛び込む勢いで練ります。⑧2.1mのJRガードをくぐるため、みこしの屋根のホウオウをいったん外します。⑨造り酒屋の面影を残す蔵の前をみこしが練り歩きます。



f のついているものは、これ以外の写真も大竹市公式フェイスブックで見ることができます。